学校番号	T3016

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	大阪の歴史 A	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、大阪の地理・歴史の基本的な知識と、課題について学習します。
・課題に対しては自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・単語を暗記するだけでなく、現代の自分たちの生活にもつながっていることを念頭に置き、当事者意識をもって学習し、課題について考えるようにしましょう。
・プリントの穴埋めをするだけでなく、教員の説明や他の生徒の発言から積極的にメモを取ることが良い学びと評価にもつながります。

2　学習の到達目標

・大阪における社会的事象の地理的・歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追求したり解決したりする態度を育成する。
・大阪の現代世界の基本的な地域的特色と日本の歴史の展開に関して理解している。
・調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
・大阪の地理や歴史に関わる基本的な事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて構想したりしている。
・考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。
・大阪の地理や歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	大阪における近現代の地理・歴史の変化に関わる諸事象について、大阪と日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の基本的な歴史を理解するとともに、諸資料から地理・歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	大阪の近現代の地理・歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理の変化を含む、大阪の歴史に見られる課題を把握し、解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	大阪の近現代の地理・歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	大阪の中心地の歴史	・梅田を中心とする「キタ」エリアの歴史 ・なぜ大阪駅と梅田駅があるのか？ ・難波や心斎橋を中心とする「ミナミ」エリアの歴史	a:梅田周辺の過去の地理の様子を知り、開拓が進んだことで「埋田」と呼ばれるようになったことを理解している。梅田や難波の周辺がかつてどのような様子で、どのように開発が進んできたか、流れを理解するとともに、諸資料を活用している。 b:梅田を中心とする「キタ」エリアが、なぜ現在のような都市に発展してきたのかを、諸資料を活用して考察し、表現している。 c:梅田や難波を中心とする大阪の中心地の過去の様子を知り、現在の様子と比較して、その発展の流れを主体的に追究しようとしている。	定期考査 授業プリント	授業プリント 提出課題	授業プリント 提出課題
後期	大阪の観光地の歴史	・大阪の有名な観光地とその歴史 ・大阪の観光地について調べて発表しよう	a:大阪の観光地の基本的な知識とその歴史について理解している。 b:大阪の観光地の最寄り駅について知り、自宅から最短の行き方を考えて調べることができる。 c:授業で扱った観光地以外で自分の知っている観光地や、気になる観光地について調べて発表しており、その準備の際、諸資料を用いて主体的に調べ、他の生徒にわかりやすく伝えようと工夫している。	定期考査 授業プリント	授業プリント 提出課題	提出課題 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度